

性別	年齢 (1:20歳未満、 2:20代、 3:30代、 4:40代、 5:50代、 6:60代、 7:70代、 8:80代、 9:90歳以上)	震災前の仕事		現在の仕事		震災時の住まい		復興住宅前の住まい		同居家族 (本人を含む) 人	復興住宅の家賃		復興住宅入居前に比べた環境	家賃の支払い	日常生活(経済的に)		持病	通院	保険の種類	被災者医療費		被災者医療費の今後									
		1:あり 2:なし	1:あり 2:なし	1:戸建(持ち家) 2:戸建(借家) 3:集合(持ち家) 4:集合(借家) 5:その他	1:仮設住宅 2:みなし仮設 3:その他	1:1万円未満 2:1万円台 3:2万円台 4:3万円台 5:4万円台 6:5万円台 7:6万円台 8:7万円以上 9:その他	1:快適 2:普通 3:悪化	1:大変苦しい 2:やや苦しい 3:普通 4:やや余裕 5:余裕あり	1:大変苦しい 2:やや苦しい 3:普通 4:やや余裕 5:余裕あり		1:通院中 2:通院していない	1:国保 2:後期高齢者 3:社保 4:その他			1:免除されている 2:免除されていない	1:復活・継続してほしい 2:必要ない 3:その他															
1:男 2:女																															
1: 222 2: 326	13 32	0.2% 2.3%	301 218	53.5% 38.7%	159 362	28.2% 64.3%	217 112	38.5% 19.9%	235 221	41.7% 39.3%	212 211	37.7% 37.5%	179 117	31.8% 20.8%	232 189	41.2% 33.6%	76 155	13.5% 27.5%	84 202	14.9% 35.9%	136 392	24.2% 69.6%	405 122	71.9% 21.7%	232 132	41.2% 23.4%	141 353	25.0% 62.7%	418 28	74.2% 5.0%	
3: 31 4: 31 5: 63 6: 151 7: 162 8: 80 9: 2	5 5 11.2% 26.8% 28.8% 14.2% 0.4%						42 137 10	7.5% 24.3% 1.8%	63 40 10	11.2% 7.1% 1.8%	57 40 10	10.1% 7.1% 1.8%	83 49 19	14.7% 8.7% 3.4%	82 248 7	14.6% 44.0% 1.2%	9 7 9	1.6% 1.2% 0.4%	11 11 2	2.0% 2.0% 0.4%											
空欄	15	2.8%	44	7.8%	42	7.5%	45	8.0%	44	7.8%	29	5.2%	91	16.2%	60	10.7%															
合計	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563	563

■訪問調査用紙(1世帯1枚)集計概要

- ① 回答者の性別： 男性(39.5%) 女性(58.0%)
- ② 回答者の年齢： 60歳代(26.8%)、70歳代(28.8%)、60歳代以上(70.2%)、70歳代以上(43.4%)
- ③ 震災前の仕事： あり(53.5%)
- ④ 現在の仕事： なし(64.3%) 144名(25.6%)が、仕事あり → 仕事なしに
- ⑤ 震災時の住まい： 戸建(持ち家38.5%)、(借家19.9%) 戸建が、58%を占める
- ⑥ 復興住宅前の住まい： 仮設住宅(41.7%)、みなし仮設(39.3%)、合計で81%
- ⑦ 同居家族(本人を含む)： 1人(37.7%)、2人(37.5%)、1人~2人が、75%を占める
- ⑧ 復興住宅の家賃： 1万円未満(31.8%)、1万円台(20.8%)、2万円台(14.7%)、~1万円代(52.6%)、~2万円代(67.3%)  
【参考】塩釜市の場合— 世帯収入なしでも家賃は4,000~6,000円程度  
家賃1万円未満の世帯月収は 収入なし~40,000円程度の方が多いのではないか(52.6%)  
家賃2万円代の世帯月収は 60,000円~80,000円程度の方が多いのではないか(14.7%)
- ⑨ 復興住宅入居前に比べた環境： 悪化(14.6%) 湿気、カビ、騒音、交通の便、他人入居者とのつながり等の声
- ⑩ 家賃の支払い： 大変苦しい(13.5%)、やや苦しい(27.5%)、合計で、41%  
【参考】塩釜市の場合— 低所得者(政令月収80,000円以下)の負担軽減措置として、最長10年間は家賃減免  
5年間は家賃変化なし、6年以降は段階的に家賃が上がり、11年目に本来家賃(法定家賃)に
- ⑪ 日常生活(経済的に)： 大変苦しい(14.9%)、やや苦しい(35.9%) 合計で、50.8%
- ⑫ 持病： ある(69.6%)
- ⑬ 通院： 通院中(71.9%)、通院していない(21.7%)
- ⑭ 保険の種類： 国保(41.2%)、後期高齢者(23.4%)、社保(19.4%)、その他(5.7%-うち生保62.5%)
- ⑮ 被災者医療費： 免除されている(25.0%)、免除されていない(62.7%)
- ⑯ 被災者医療費の今後： 復活・継続してほしい(74.2%)

■生活不安の特徴的な声、今後の課題いくつか

- \*生活不安の主な分類— ①健康不安 ②収入不安 ③将来の家賃不安 ④住民相互の関係不安
- \*今後の課題— ①環境悪化の実態把握 ②通院なしの理由、医療費免除との関連把握 ③地域別の分析と自治体対応 ④困難事例への個別対応

以上

宮城県民医連 公営住宅訪問調査 記入用紙

◆お答えななければ  
お名前( )

◆性別 ①男性 ②女性

◆年齢 ①20歳未満 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代 ⑨90歳以上

1. 以前のお仕事など  
◆震災前のお仕事を ①していた ②していない  
◆現在のお仕事を ①している ②していない

2. お住まいなどに関して  
◆震災当時の住まい ①戸建(持ち家・借家) ②集合住宅(持ち家・借家) ③その他  
◆公営住宅入居前の住まい ①仮設住宅 ②みなし仮設 ③その他  
◆現在何人のお住まいですか ①一人暮らし ② 人(配偶者、子ども、 )  
◆復興住宅の家賃 ①1万円未満 ②1万円台 ③2万円台 ④3万円台  
⑤4万円台 ⑥5万円台 ⑦6万円台 ⑧7万円以上 ⑨その他  
◆復興住宅入居前と比べた環境は ①快適 ②普通 ③悪化した( )  
◆家賃の支払い ①大変苦しい ②やや苦しい ③普通 ④やや余裕がある ⑤余裕がある  
◆日常生活(経済的に) ①大変苦しい ②やや苦しい ③普通 ④やや余裕がある ⑤余裕がある

3. 健康状態、医療費の免除について  
◆持病は ①ない ②ある( )  
◆通院は ①している ②していない  
◆保険は ①国保 ②後期高齢者 ③社保 ④その他( )  
◆被災者医療費の免除 ①されている ②されていない  
◆被災者医療費の今後について ①復活・継続してほしい ②必要ない ③その他

4. 生活上不安なことなど(複数回答可)  
◆生活上不安なことは ①健康 ②仕事 ③収入 ④将来の家賃 ⑤住民関係  
⑥環境 ⑦交通の便 ⑧住民同士の関わり ⑨その他( )

5. 自由記述欄(生活全般、困っていること、未読懸念・相談希望・自治体への要望など)

報告者氏名( )